

## 3. 3. イカ類の分布と資源

太平洋南北亜寒帯水域、あるいはその近くの水域に生息、あるいは回遊してくるイカ類は第1表に示すとおりであるが、これらのうち人間に利用され、あるいは、開発の対象になっているイカ類は主にコウイカ類、ヤリイカ類およびスルメイカ類である。

コウイカ類は沿岸性種で、多くの種がインド洋～太平洋、およびオーストラリアの温帯～亜熱帯域に集中している。北太平洋では例外的にボウズイカが日本海、鹿島灘以北～アリューシャン～アラスカに広く分布しているほかは、ヒメコウイカ、エゾハリイカ、ミミイカ、ヒメイカ等がアジア側に北海道沿岸域にまで分布を延ばしているにすぎず、南太平洋ではオーストラリアコウイカおよび *Sepia plangon*, *Sepioloidea pacifica*, *Iridoteuthis maoria*, *Spirula spirula* などがオーストラリア南部、ニュージーランド沿岸域にまで分布を延ばしているにすぎない。

ヤリイカ類も沿岸性種で、多くの種が温帯～熱帯に集中していて、北西太平洋では僅かにジンドウイカおよびアオリイカが北海道沿岸域にまで、北東太平洋ではカリフォルニアヤリイカがカリフォルニア沿岸からカナダのバンクーバー島あたりまで分布している。また、南太平洋ではヒラケンサキイカ（オーストラリアではエセリッジと呼ばれている）、オーストラリアアオリイカがオーストラリア南部あるいはニュージーランドの沿岸域にまで分布を延ばしている程度である。

スルメイカ類は外洋性で、太平洋にはスルメイカ亜科およびアカイカ亜科の存在が知られている。スルメイカ亜科では、北太平洋で日本周辺から北海道、千島にかけてスルメイカが、南太平洋の南部ではニュージーランド

川 上 武 彦（東海区水産研究所）

周辺にニュージーランドスルメイカが、オーストラリア南東岸～タスマニア島にオーストラリアスルメイカが、また、オーストラリア～ニュージーランド周辺に広範囲に *Todarodes filippovae* が分布している。アカイカ亜科ではスジイカが北太平洋の日本近海からカリフォルニア沿岸にかけてのやや冷水域に広く分布し、カリフォルニア沖から大陸南端沖合にかけてアメリカオアカイカが分布している。また、アカイカは太平洋全域に広く分布し、南北亜寒帯域にまで分布が広がっている。これらスルメイカ類は何れも資源が大きく、漁業の対象になっているか、あるいは開発の可能性が大きい。

以上のほかに、ホタルイカは中部日本周辺から北海道周辺にまで分布が延びていて、漁業の対象となっている。

このほか、まだ漁業の対象とはなっていないが、潜在資源として次のような種の存在が挙げられる。

北部太平洋ではツメイカ、ニュードウイカ、テカギイカ、ドスイカ、*Berryteuthis anonychus*, テナガタコイカ、ニッポンタコイカ、タコイカ、*Stigmatoteuthis* sp., スカシイカ、クジャクイカなど、南太平洋南部では *Abraliopsis hoylei*, *A. gilchristi*, マダマイカ、ホンツメイカ、ミナミニュウドウイカ、*Gonatus (Gonatus) antarcticus*, *Architeuthis kirki*, *Histioteuthis cookiana*, *Mastigoteuthis flammea*, ホウズキイカ、トウガタイカ、*Megarocranchia pardus*, *M. richardsoni*, *Teuthowenia antarctica* などがみられる。これらのイカではクジラやオットセイ、マグロなどの餌となっているものが多く、肉質からみても、資源量からみても、将来有望な潜在資源と考えられるものも多く、今後の調査研究に期待されるところが大きい。

第1表 南北太平洋亜寒水域に生息,あるいは回遊するイカ類

北 太 平 洋		南 太 平 洋	
Sepioidea	コウイカ目		
Spirulidae	トグロコウイカ科	<i>Spirula spirula</i>	
Sepiidae	コウイカ科		
<i>Sepia kobeiensis</i>	ヒメコウイカ	<i>Sepia apama</i>	オーストラリアコウイカ
<i>S. andreana</i>	エゾハリイカ	<i>S. plangon</i>	
Sepiadiariidae	ミミイカダマン科	<i>Sepioloidea pacifica</i>	
Sepiolidae	ダンゴイカ科	<i>Iridioteuthis maoria</i>	
<i>Rossia pacifica</i>	ボウズイカ		
<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ		
Idiosepiidae	ヒメイカ科		
<i>Idiosepius pygmaeus paradoxus</i>	ヒメイカ		
Teuthoidea	ツツイカ目		
Myopsida	閉眼亜目		
Loliginidae	ジンドウイカ科		
<i>Loligo japonica</i>	ジンドウイカ	<i>Loligo chinensis</i>	ヒラケンサキイカ
<i>L. opalescens</i>	カリフォルニアアヤリイカ	= <i>L. etheridgei</i>	(エセリッジアヤリイカ)
<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ	<i>Sepioteuthis australis</i>	オーストラリアアオリイカ
Oegopsida	開眼亜目		
Ommastrephidae	アカイカ科(=スルメイカ科)		
Todarodinae	スルメイカ亜科		
<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ	<i>Todarodes filippovae</i>	
		<i>Nototodarus sloani sloani</i>	ニュージーランドスルメイカ
		<i>N. sloani gouldi</i>	オーストラリアスルメイカ
Ommastrephinae	アカイカ亜科		
<i>Ommastrephes bartrami</i>	アカイカ	<i>Ommastrephes bartrami</i>	アカイカ
<i>Eucleoteuthis luminosa</i>	スジイカ	<i>Dosidicus gigas</i>	アメリカオオアカイカ
Enoploteuthidae	ホタルイカモドキ科		
<i>Watasenia scintillans</i>	ホタルイカ	<i>Abraliopsis hoylei</i>	
		<i>A. gilchristi</i> = <i>A. neozelandica</i>	
		<i>Pterygioteuthis giardi</i>	マダマイカ
Onychoteuthidae	ツメイカ科		
<i>Onychoteuthis borealijaponicus</i>	ツメイカ	<i>Onychoteuthis banksii</i>	ホンツメイカ
<i>Moroteuthis robusta</i>	ニュウドウイカ	<i>Moroteuthis ingens</i>	ミナミニュウドウイカ
Gonatidae	テカギイカ科		
<i>Gonatus (Gonatus) onyx</i>	テカギイカ	<i>Gonatus (Gonatus) antarcticus</i>	
<i>Berryteuthis magister</i>	ドスイカ		
<i>B. anonychus</i>			
<i>Gonatopsis (Gonatopsis) octopedatus</i>	テナガタコイカ		
<i>G. (G.) japonicus</i>	ニッポンタコイカ		
<i>G. (Boreoteuthis) borealis</i>	タコイカ		
Architeuthidae	ダイオウイカ科		
<i>Architeuthis japonicus</i>	ダイオウイカ	<i>Architeuthis kirki</i>	
Histioteuthidae	ゴマイカ科	<i>Histioteuthis cookiana</i>	
<i>Stigmatoteuthis</i> sp.		<i>Mastigoteuthis flammea</i>	
Mastigoteuthidae	ムチイカ科		
<i>Mastigoteuthis</i> sp.			
Cranchiidae	サメハダホウズキイカ科		
<i>Galiteuthis armata</i>	スカシイカ	<i>Liocranchia reinhardti</i>	ホウズキイカ
<i>Taonius pavo</i>	クジャクイカ	<i>Pyrgopsis pacificus</i>	トウガタイカ
		<i>Megalocranchia pardus</i>	
		<i>M. richardsoni</i>	
		<i>Teuthowenia antarctica</i>	